

○月 日 晴れ

拙宅にはほんの少し庭があります。なにげなく隅の方に目をやると「雑草」と呼ばれている草が、いつのまにやらしっかりと身の丈を伸ばしていました。よく見ますと先には黄色の可愛い花をつけています。「ふーむ、君もなかなかやるではないか」と小さな感動を覚えました。そのとき、昭和天皇が「この世の中に雑草という草はありません。皆、それぞれ名前を持っています。」と言われたことを思い出しました。この世界に存在するすべての物にそれぞれ生きる理由がある、ということです。私達人間もまた同じ。すべての人に、父と母あり、命がけでこの世に生命を与えてくれた母は、健康に育つこと、立派な人になってくれることを一心に願い、いかなる苦しみにも耐え忍び乳を与え続けます。そんな親のせつなる思いに自分はどれだけ応えてきただろうか、と思いました。日も当たらない庭の片隅にひっそりと咲く小さな花の姿から、父と母が咲かせてくれた「自分」が重なりました。

□月 日 少し曇り

今日は、CD を買いました。先日、NHK の土曜ドラマ「ジャッジ」の中で、エンディングに流れていた中孝介（あたり こうすけ）さんが歌う『路の途中』という曲です。歌詞がとてもすばらしいので紹介させていただきます。

優しい風が 囁く唄に  
目を閉じ 思い描くのは あなたの笑顔

寄り添って飛ぶあの鳥のように  
同じ速さで 歩いて行きたい人がいる

どこまでも  
遠く続く 路の途中  
いつまでも 貴方と微笑みを交わし  
雨が心濡らすときは  
互いに寄り添い 晴れる日を待とう

メロディーも美しい歌です。ぜひ聞いて頂きたいです。エピックレコードから『種をまく日々』（4曲入りCD）のタイトルで発売しています。

月 日 雨

世間では中高年の少し不良ぼくもダンディーな男を「チョイ悪おやじ」というそうです。家内にその話をしますと、「あなたはオオ悪おやじだからこれ以上悪くなれません」と言われた。褒められたのか、あきらめられたのか、複雑な心境でありました。ここで下手に言い返すと戦局は泥沼になると判断し、すぐさま話題を切り替えて難をのがれました。やれやれ。